

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年4月13日（火）

2 確認場所

瓦礫等一時保管エリアW2

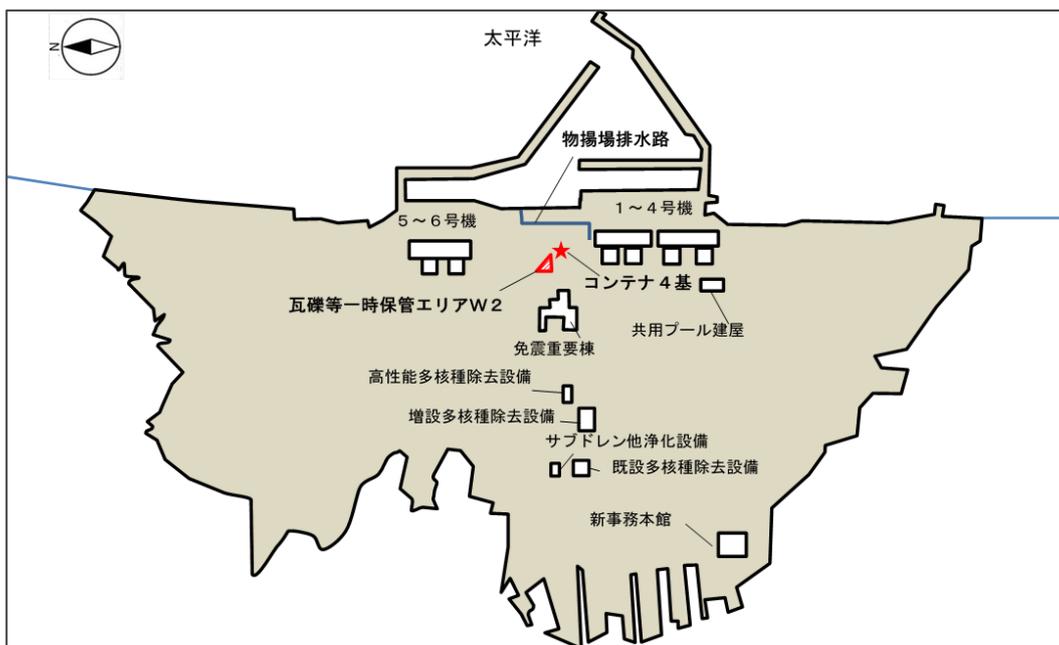
3 確認項目

物揚場排水路の簡易放射線検知器における「高警報」発生に伴う原因調査
（アスファルト除去の準備作業及びコンテナ4基の保管状況について）

4 確認結果の概要

3月2日、物揚場排水路に設置されている簡易放射線検知器において「高警報」が発生し、原因調査の過程で、3月22日に瓦礫等一時保管エリアW2で放射線量率が高いゲル状物質が確認された。3月24日にゲル状物質の回収等が実施され、その後、当該エリアのアスファルトの剥ぎ取り作業が計画されていたことから状況を確認した。また、当該エリア付近に保管され、ガンマ線の線量率が高いコンテナ4基の現況についても確認した。（前回確認：[令和3年4月5日](#)）（図1）

- ・本日は剥ぎ取り作業をする前の飛散防止剤の塗装作業が実施されていた。（写真1）
- ・コンテナ4基について本日シートで養生されていることを確認した。また周囲は単管パイプで区画され線量表示が掲示されていた。（写真2）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



汚染が取り除かれ、シート養生された箇所

(写真 1 - 1)
瓦礫等一時保管エリアW2
(北東側から撮影)
(令和3年4月5日撮影)



エリア全域に塗布された飛散防止剤

(写真 1 - 2)
同左
(北東側から撮影)



(写真 2 - 1)
当該エリア付近に保管されている
コンテナ4基周囲の状況
(令和3年4月5日撮影)



(写真 2 - 2)
同左
シート養生が実施されていた
(令和3年4月13日撮影)



(写真 2 - 3)
コンテナ4基の周囲は単管パイプが
組まれ線量表示がされていた

5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。